

町会活動に関するアンケート調査 (町会長・自治振興委員) 報告書【単純集計】

本報告書は、平成23年11月9日現在の八尾市町会加入促進
検討会議用資料として、作成したものです。

<<目次>>

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の方法	1
(1) 調査対象	1
(2) 調査方法	1
(3) 調査の実施状況	1
(4) 調査期間	1
(5) 回収状況	1
(6) 補足	1
II. 集計結果	2
1. お住まいの地域(町会)の特徴について	2
(1) お住まいの地域の特徴	2
(2) 町会の世帯数と班(組)数について	4
2. 町会活動の現状について	5
(1) 町会をはじめとする地域での活動(複数回答)	5
(2) 町会の会合をよく行う場所(複数回答)	6
(3) 世帯あたりの町会費月額	7
(4) 町会長・自治振興委員の選出方法	8
(5) 町会長・自治振興委員として特に苦勞している取り組み(複数回答)	8
(6) 町会活動への住民の参加状況についての課題(複数回答)	9
(7) 地域住民への情報伝達における課題(複数回答)	10
(8) 町会活動の現状についての考え	11
3. 町会への加入状況について	12
(1) 住宅の種類ごとの加入状況の特徴	12
(2) 町会への加入促進のための取り組みについて(複数回答)	13
(3) 町会区域内での集合住宅の建設や住宅地の開発について(平成20年度以降)	13
(4) (建設や開発があった町会について)完成前や入居直後の加入の働きかけ	14
(5) 町会を退会するケース(町会外への転居を除く)について	14
(6) (退会が「毎年のようにある」、「時々ある」町会について)退会理由(複数回答)	15
(7) 町会からの退会を防ぐための負担軽減策について	15
(8) 加入促進活動を活発にするために行政へ求める支援(複数回答)	16
4. これからの町会活動の活発化に向けて	17
(1) 東日本大震災をきっかけとした住民の町会活動への関心の変化について	17
(2) 今後の町会が担う役割について	18
(3) 町会活動を活発にするために必要なことについて(複数回答)	19
5. 回答者の属性	20
(1) 性別・年代	20
(2) 職業	20
(3) 町会長・自治振興委員に就任してからの年数	21

(4) 町会長と自治振興委員の就任状況について	23
(5) 現在の地域(小学校区)での居住年数について	23
(6) 現在の住居の種類について	24
(7) お住まいの小学校区について	25

解説

<市民アンケート>とは・・・

八尾市民の町会の活動、加入状況、今後の町会活動について調査するため、八尾市在住20歳以上の男女2,000名(無作為抽出)を対象に、調査を行ったものです。

(有効回答率:44.8%)

1. 調査の概要

1. 調査の目的

八尾市における町会活動や町会加入促進活動の現状と課題を把握し、町会のあり方についての検討を行う際の参考資料とする。

2. 調査の方法

(1) 調査対象

八尾市町会長・自治振興委員808人

(2) 調査方法

職員による直接配布・直接回収。

(3) 調査の実施状況

状況	件数	備考
配布数	808	
回答数	807	
有効回答数	806	有効回答率：99.8%

(4) 調査期間

平成23年9月15日～平成23年9月30日

(5) 回収状況

「N＝」は、当該質問の回答者数を表しており、パーセントを算出する時の母数である。なお、集計に当たっては、小数点第2位以下を四捨五入しているため、パーセントの合計は必ずしも100%にならない場合もある。

また、複数回答の質問では、パーセントの合計は100%を超える。

(6) 補足

アンケートの配布数・有効回答数と町会数(調査時点で754)については、以下の理由により異なっている。

一つの町会に、町会長と自治振興委員の2人が存在する場合には、双方にアンケート用紙を配布しており、双方とも回答していただいている。

届出上は複数の町会だが、実態としては一つの町会として運営・活動している場合があり、一つの町会として回答している可能性がある。(大規模なマンションに見られる。)

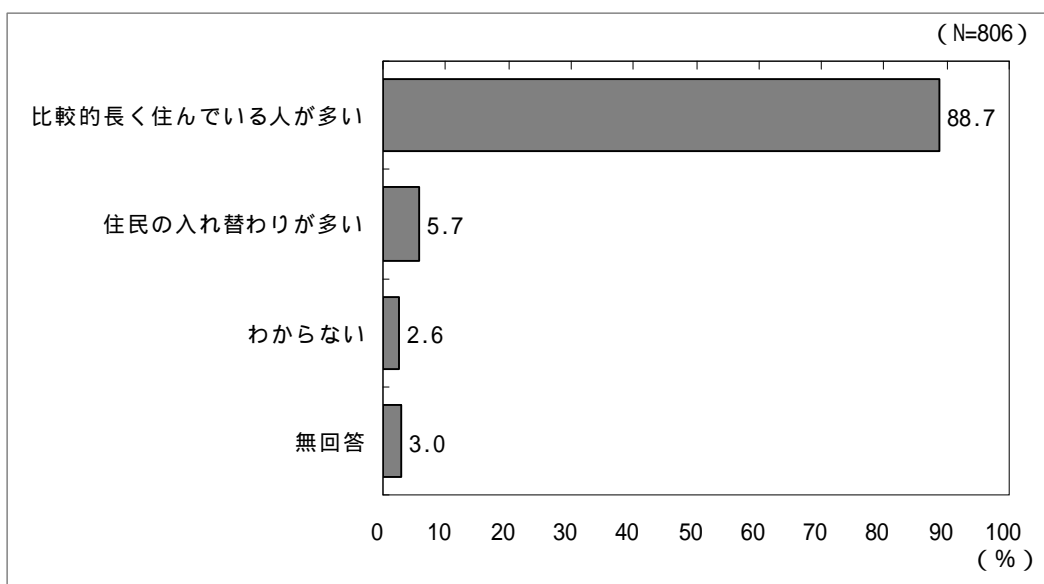
II. 集計結果

1. お住まいの地域（町会）の特徴について

(1) お住まいの地域の特徴

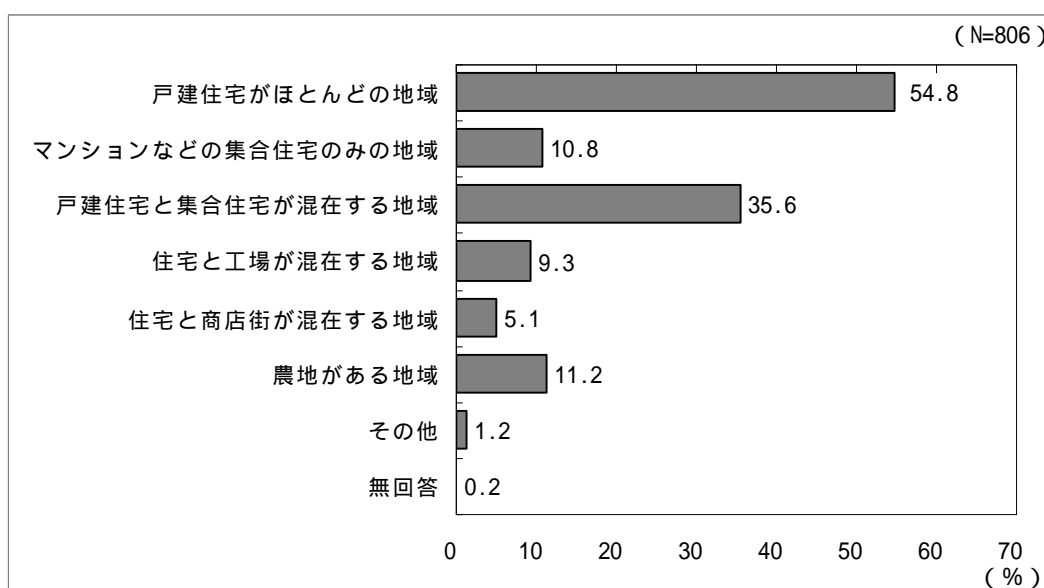
a) 住民の居住年数の特徴

・「比較的長く住んでいる人が多い」が88.7%で最も多い。



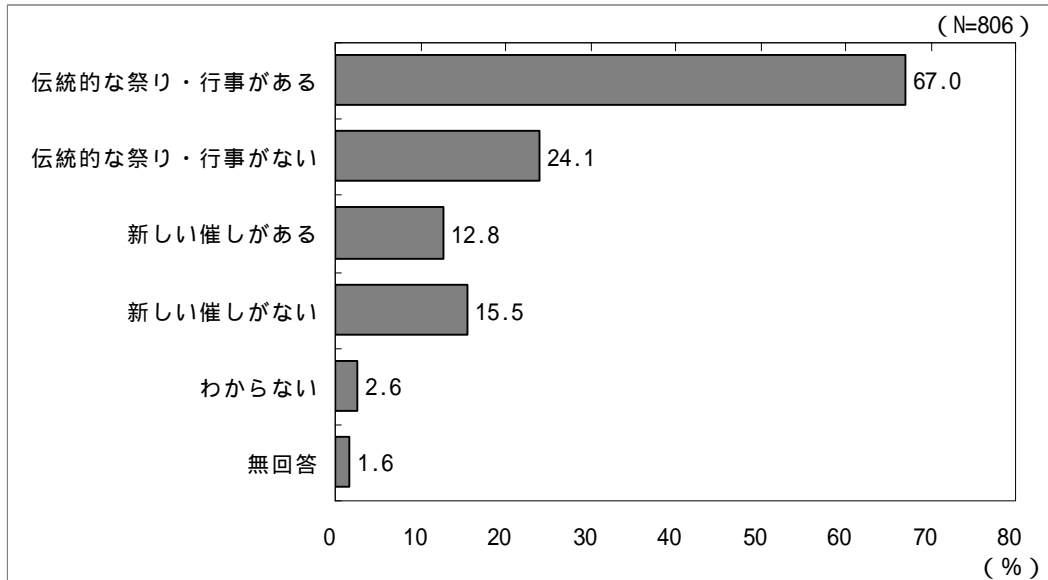
b) 地域の特徴（複数回答）

・「戸建住宅がほとんどの地域」が54.8%で最も多く、ついで、「戸建住宅と集合住宅が混在する地域」が35.6%、「農地がある地域」が11.2%、「マンションなどの集合住宅のみの地域」が10.8%となっている。



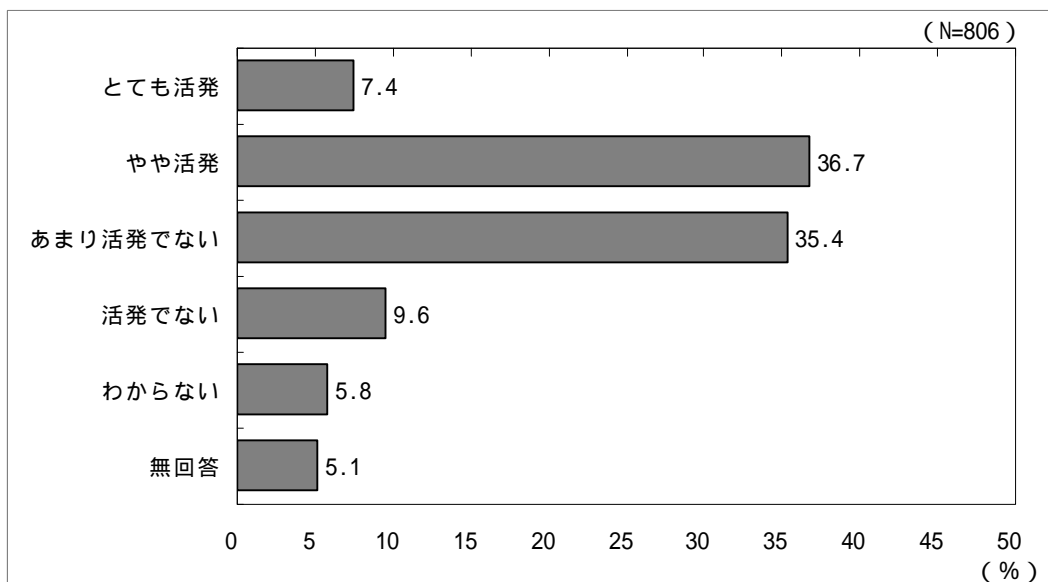
c) 祭りや行事（複数回答）

・「伝統的な祭り・行事がある」が67.0%で最も多く、ついで「伝統的な祭り・行事がない」が24.1%、「新しい催しがない」が15.5%、「新しい催しがある」が12.8%となっている。



d) 住民同士の交流

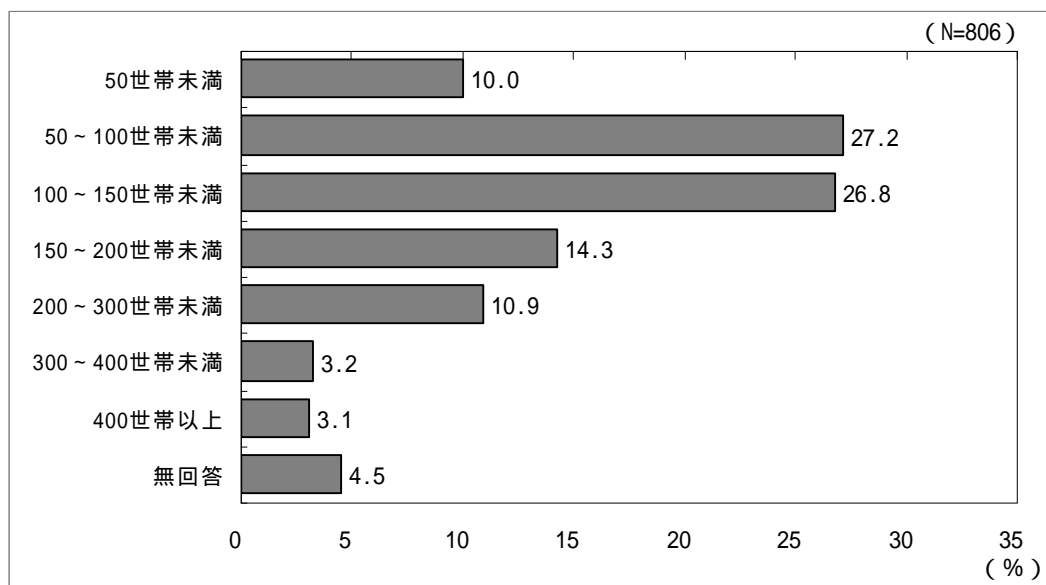
・「やや活発」が36.7%で最も多く、ついで「あまり活発でない」が35.4%、「活発でない」が9.6%、「とても活発」が7.4%となっている。



(2) 町会の世帯数と班(組)数について

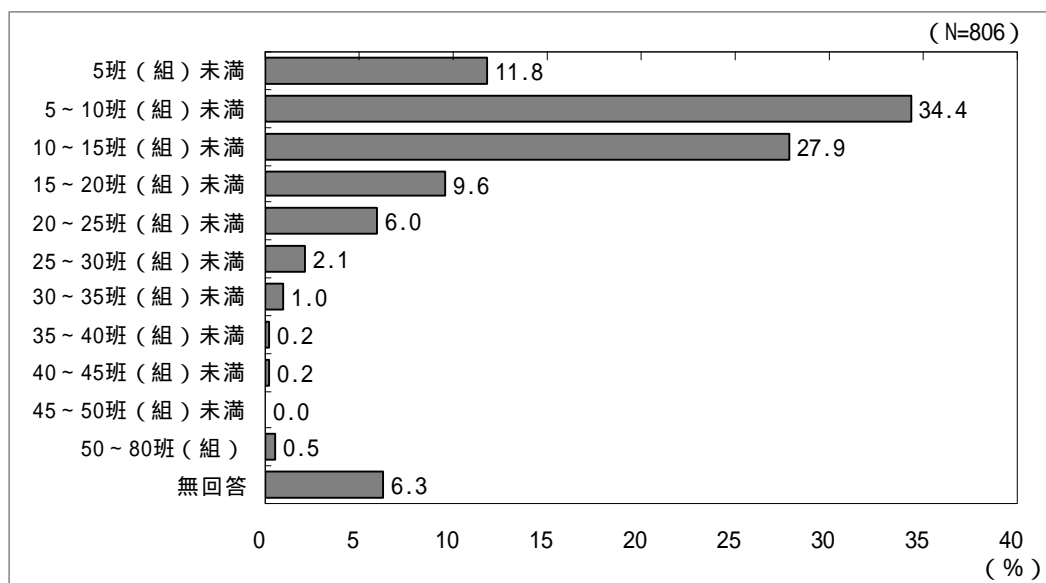
a) 町会の世帯数(未加入世帯を含む)

- ・ 「50～100世帯未満」が27.2%で最も多く、ついで「100～150世帯未満」が26.8%、「150～200世帯未満」が14.3%、「200～300世帯未満」が10.9%、「50世帯未満」が10.0%となっている。



b) 班(組)数

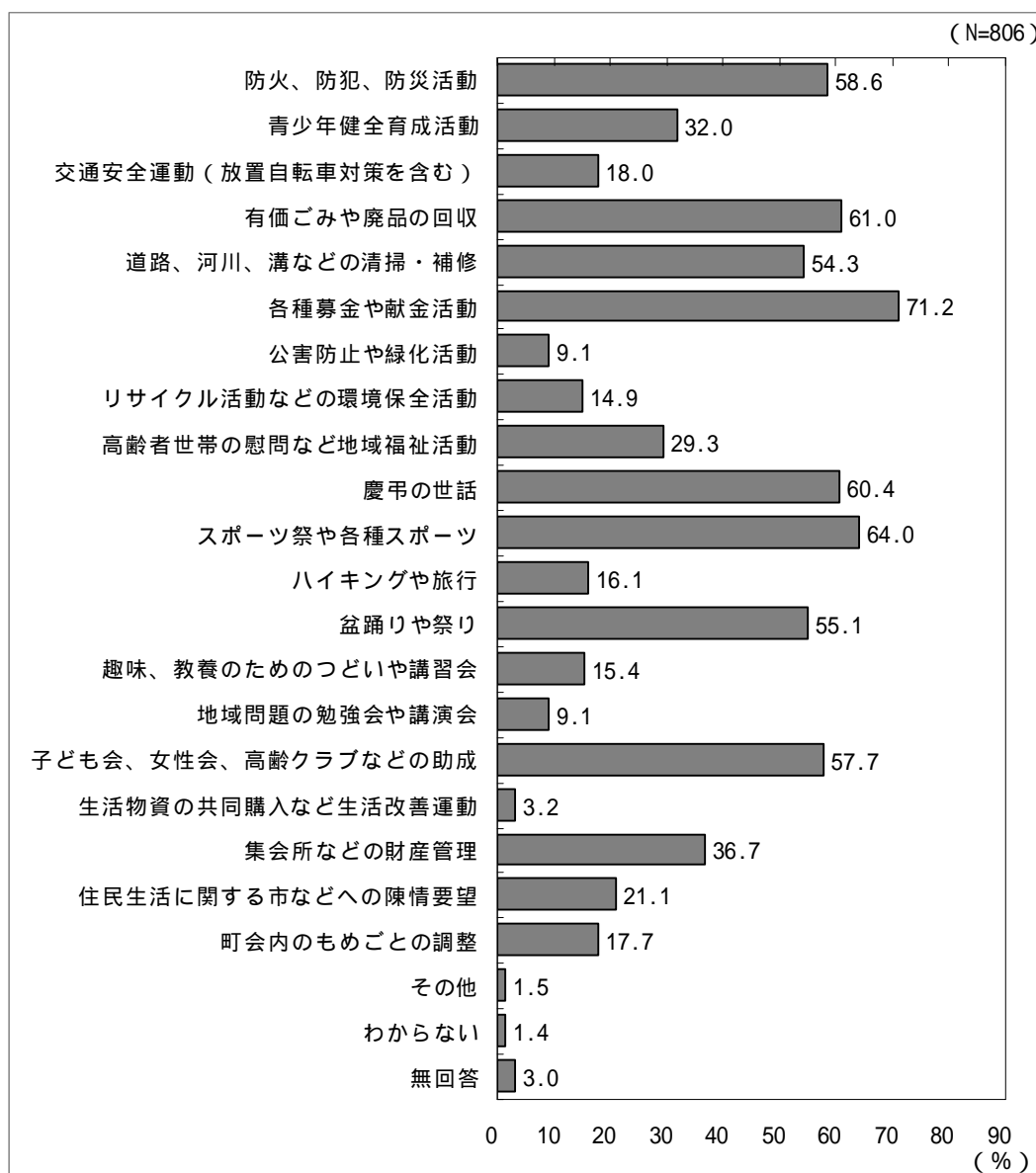
- ・ 「5～10班(組)未満」が34.4%で最も多く、ついで「10～15班(組)未満」が27.9%、「5班(組)未満」が11.8%となっている。



2. 町会活動の現状について

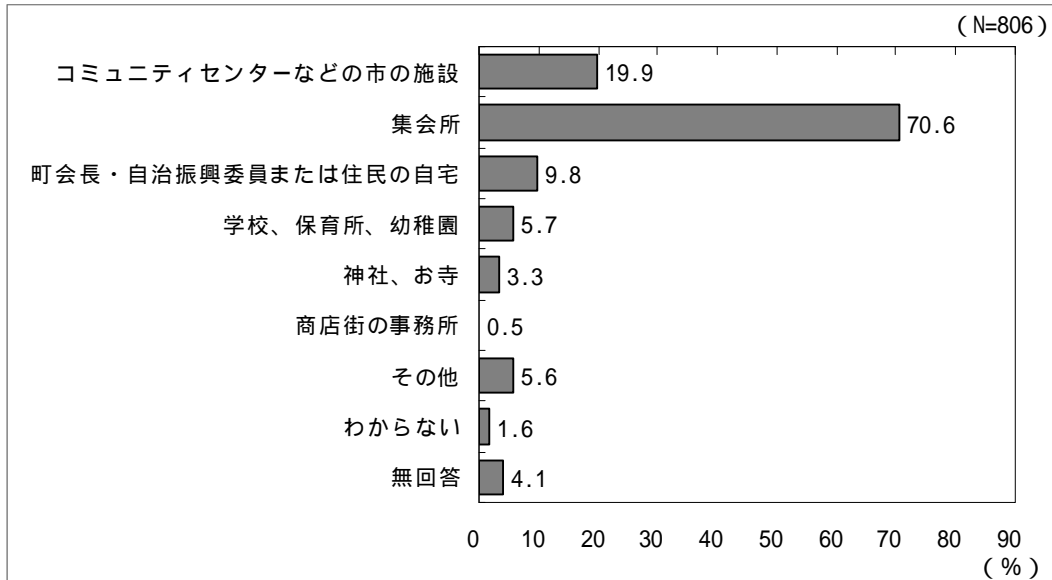
(1) 町会をはじめとする地域での活動（複数回答）

- ・「各種募金や献金活動」が71.2%で最も多く、ついで「スポーツ祭や各種スポーツ」が64.0%、「有価ごみや廃品の回収」が61.0%、「慶弔の世話」が60.4%、「防火、防犯、防災活動」が58.6%、「子ども会、女性会、高齢クラブなどの助成」が57.7%、「盆踊りや祭り」が55.1%、「道路、河川、溝などの清掃・補修」が54.3%となっている。



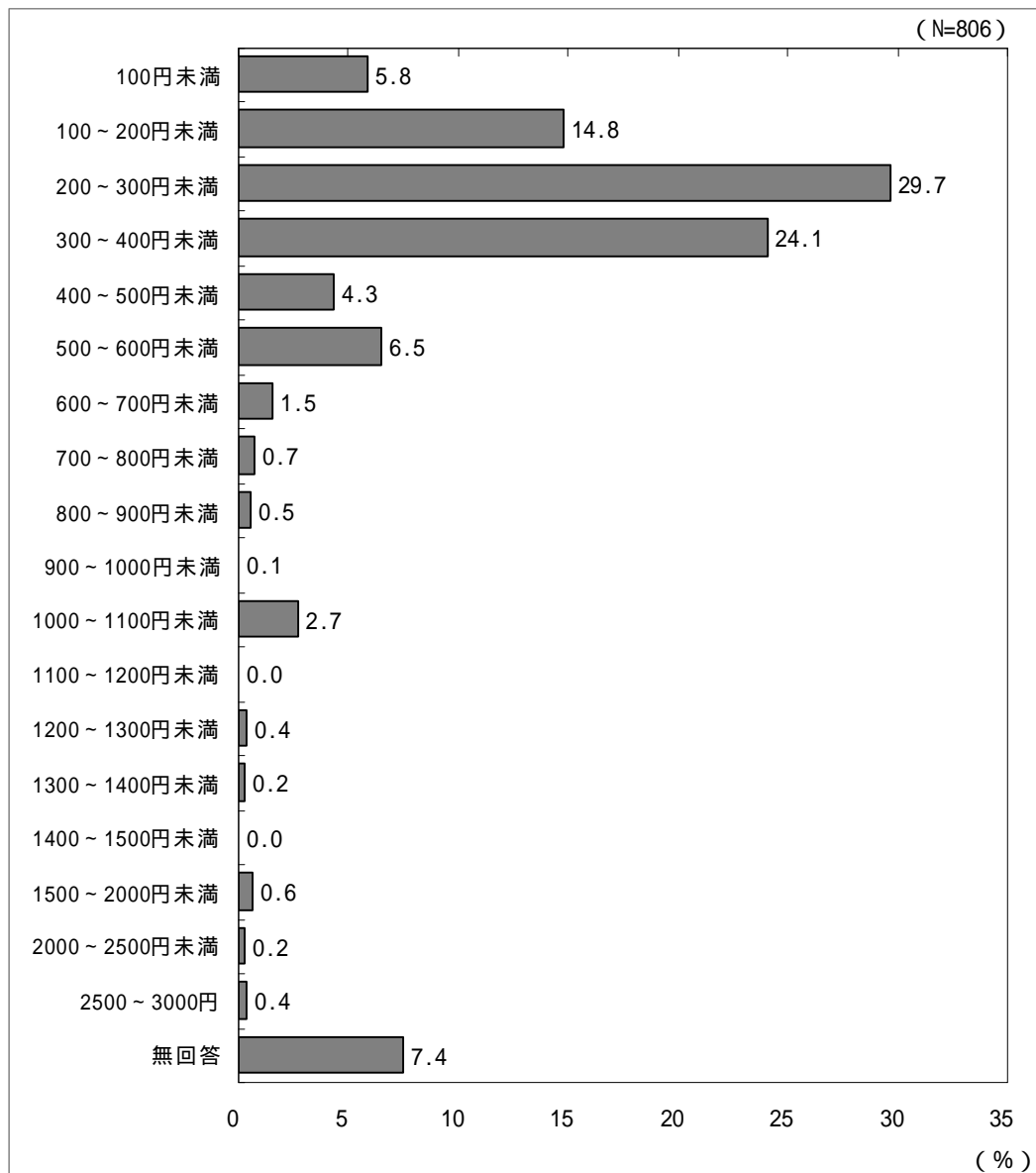
(2) 町会の会合をよく行う場所(複数回答)

・「集会所」が70.6%で最も多く、ついで「コミュニティセンターなどの市の施設」が19.9%、「町会長・自治振興委員または住民の自宅」が9.8%となっている。



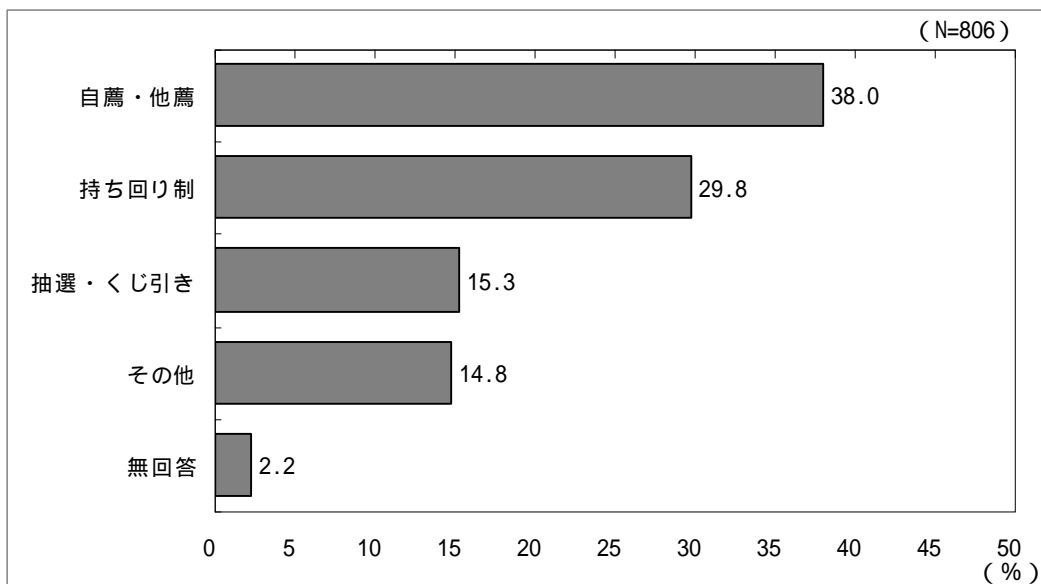
(3) 世帯あたりの町会費月額

・「200～300円未満」が29.7%で最も多く、ついで「300～400円未満」が24.1%、「100～200円未満」が14.8%となっている。



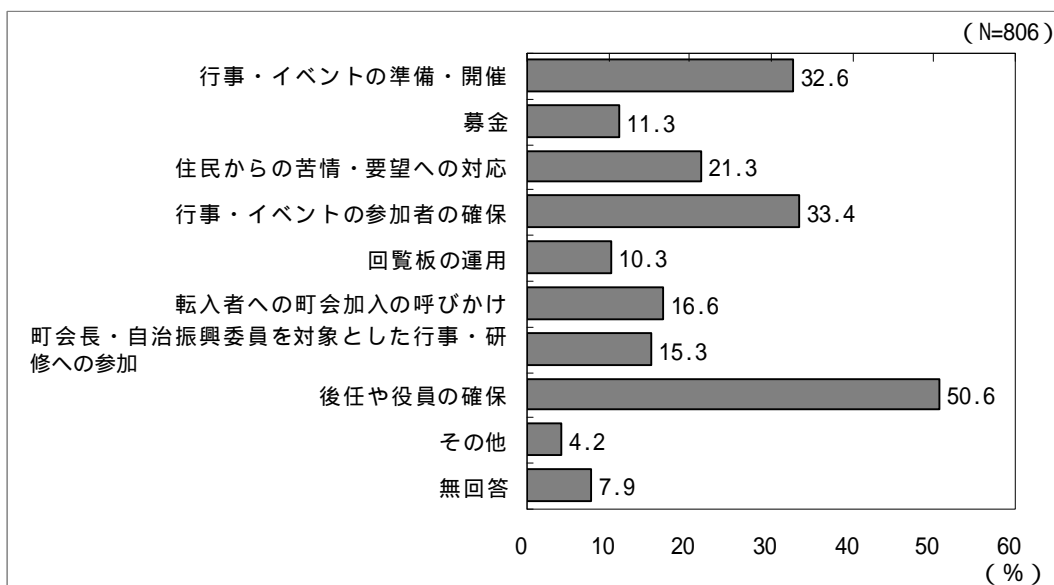
(4) 町会長・自治振興委員の選出方法

- ・ 「自薦・他薦」が38.0%で最も多く、ついで「持ち回り制」が29.8%、「抽選・くじ引き」が15.3%となっている。
- ・ 「その他」の内容は「選挙」が多い。



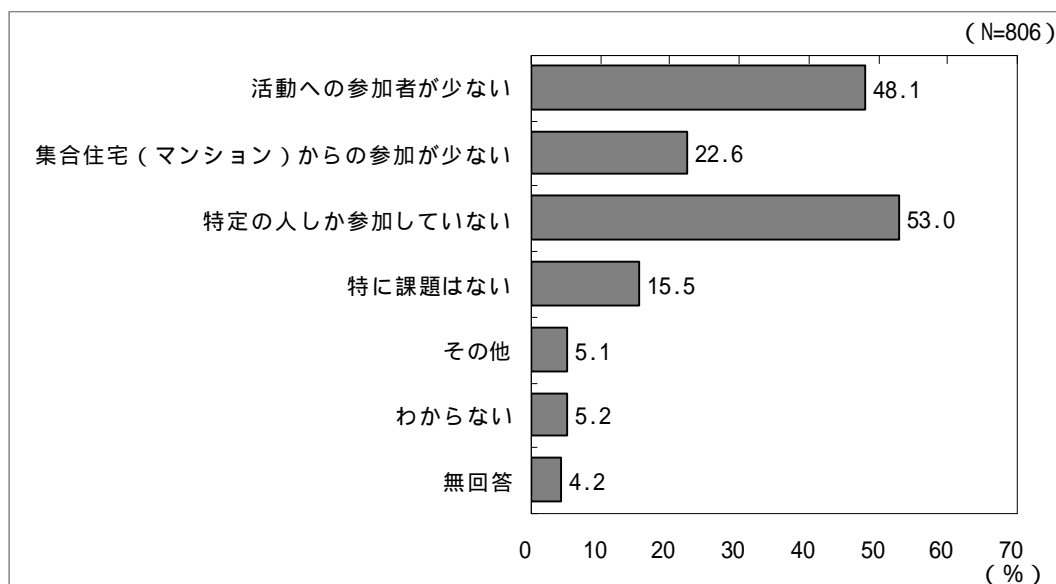
(5) 町会長・自治振興委員として特に苦勞している取り組み（複数回答）

- ・ 「後任や役員の確保」が50.6%で最も多く、次いで「行事・イベントの参加者の確保」が33.4%、「行事・イベントの準備・開催」が32.6%、「住民からの苦情・要望への対応」が21.3%、「転入者への町会加入の呼びかけ」が16.6%、「町会長・自治振興委員を対象とした行事・研修への参加」が15.3%、「募金」が11.3%、「回覧板の運用」が10.3%となっている。



(6) 町会活動への地域住民の参加状況についての課題(複数回答)

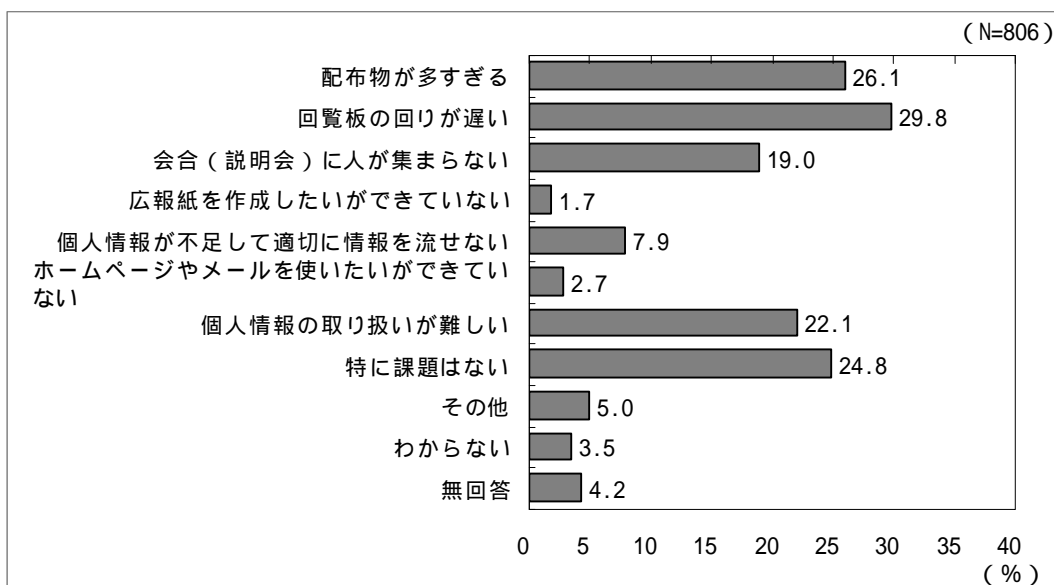
・「特定の人しか参加していない」が53.0%で最も多く、ついで「活動への参加者が少ない」が48.1%、「集合住宅(マンション)からの参加者が少ない」が22.6%、「特に課題はない」が15.5%となっている。



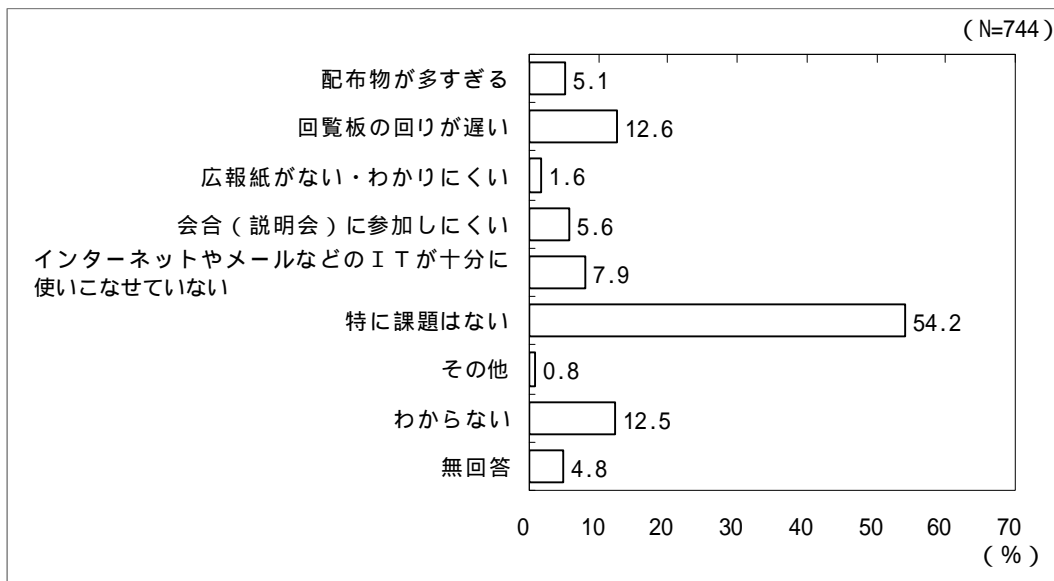
(7) 地域住民への情報伝達における課題（複数回答）

- ・ 課題については、「回覧板の回りが遅い」が29.8%で最も多く、ついで「配布物が多すぎる」が26.1%、「個人情報の取り扱いが難しい」が22.1%、「会合（説明会）に人が集まらない」が19.0%となっている。一方で、「特に課題はない」が24.8%となっている。
- ・ 市民アンケートでは、「特に課題はない」が54.2%となっており、町会長・自治振興委員アンケートで割合が高い「回覧板の回りが遅い」、「配布物が多すぎる」の割合は低い。

【町会長・自治振興委員】

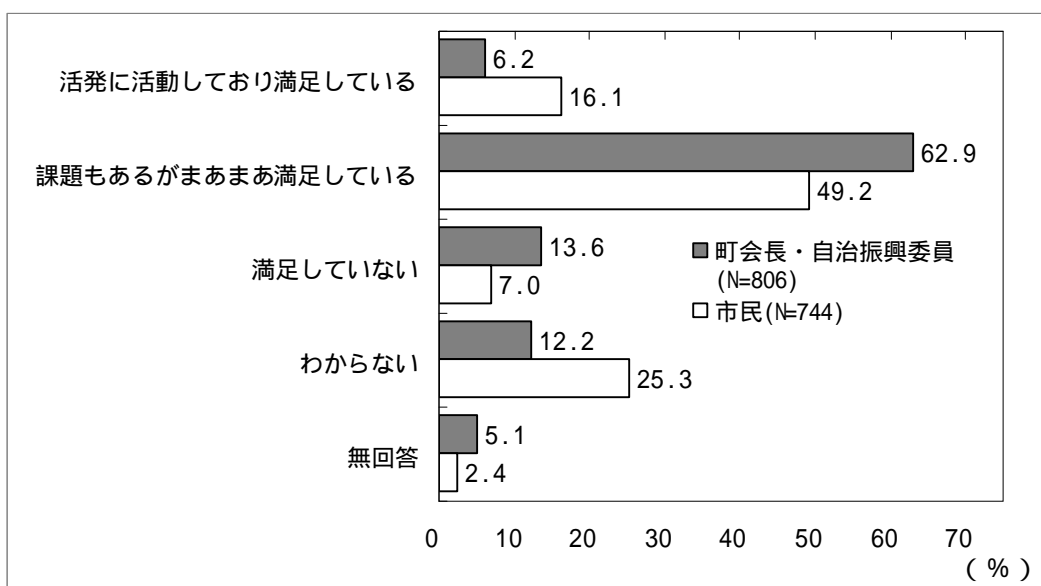


(参考) 【市民】



(8) 町会活動の現状についての考え

- ・ 「課題もあるがまあまあ満足している」が62.9%と最も多く、ついで「満足していない」が13.6%、「わからない」が12.2%、「活発に活動しており満足している」が6.2%となっている。
- ・ 市民アンケートでは、「活発に活動しており満足している」が16.1%で、町会長・自治振興委員アンケートより9.9%高くなっており、「満足していない」の割合は町会長・自治振興委員アンケートよりも低くなっている。また、「わからない」が25.3%で、町会長・自治振興委員アンケートより13.1%高くなっている。

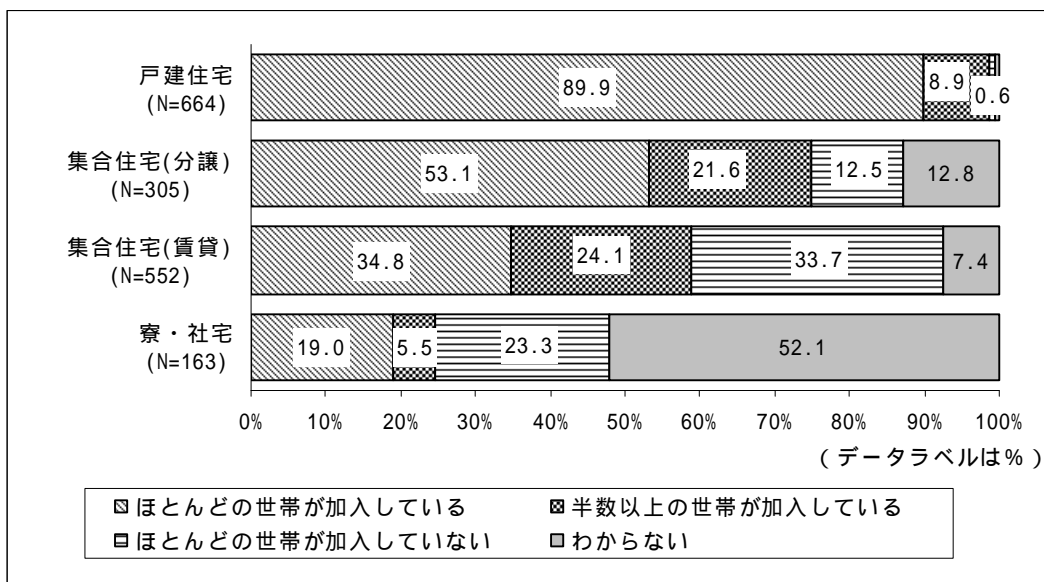


(注)市民の割合は、町会に加入している回答者のみで算出。

3. 町会への加入状況について

(1) 住宅の種類ごとの加入状況の特徴

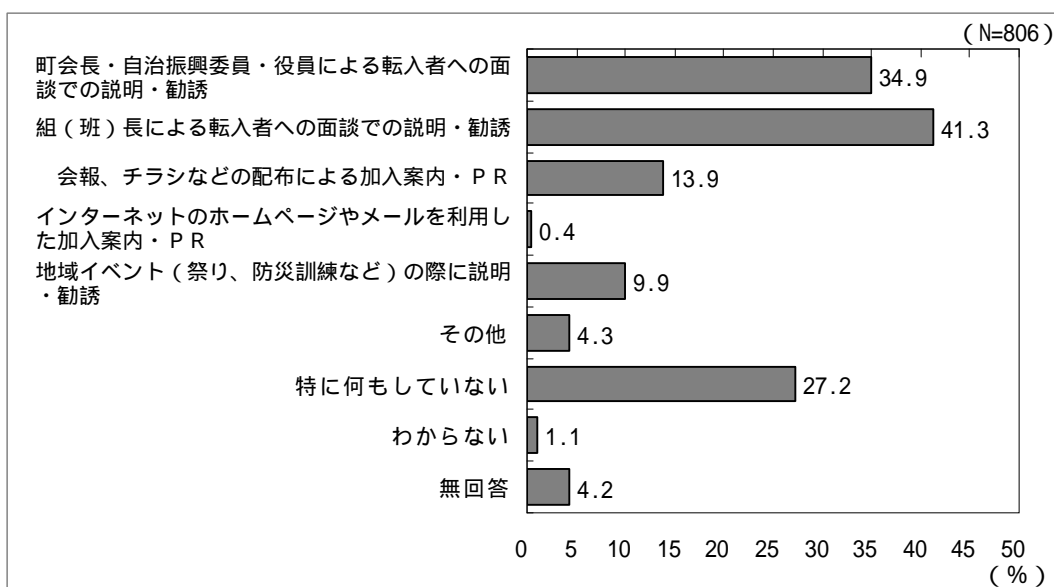
- ・ 戸建住宅では、「ほとんどの世帯が加入している」が89.9%で最も多い。
- ・ 集合住宅（分譲）でも、「ほとんどの世帯が加入している」が53.1%で最も多く、ついで「半数以上の世帯が加入している」が21.6%となっている。
- ・ 集合住宅（賃貸）では、「ほとんどの世帯が加入している」が34.8%で最も多いものの、ついで多いのが「ほとんどの世帯が加入していない」で33.7%となっている。
- ・ 寮・社宅では、「わからない」が52.1%で最も多く、ついで「ほとんどの世帯が加入していない」が23.3%となっている。



(注)割合は、「該当する住宅がない」と無回答を除いて算出。

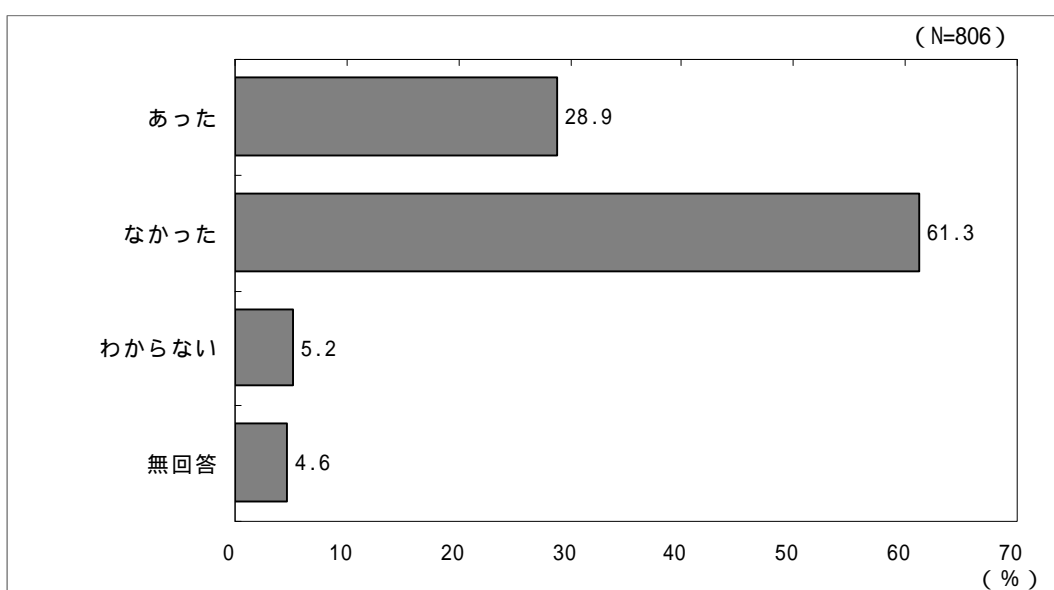
(2) 町会への加入促進のための取り組みについて(複数回答)

- ・ 取り組みについては、「組(班)長による転入者への面談での説明・勧誘」が41.3%で最も多く、ついで「町会長・自治振興委員・役員による転入者への面談での説明・勧誘」が34.9%、「会報、チラシなどの配布による加入案内・PR」が13.9%となっている。一方で、「特に何もしていない」が27.2%となっている。



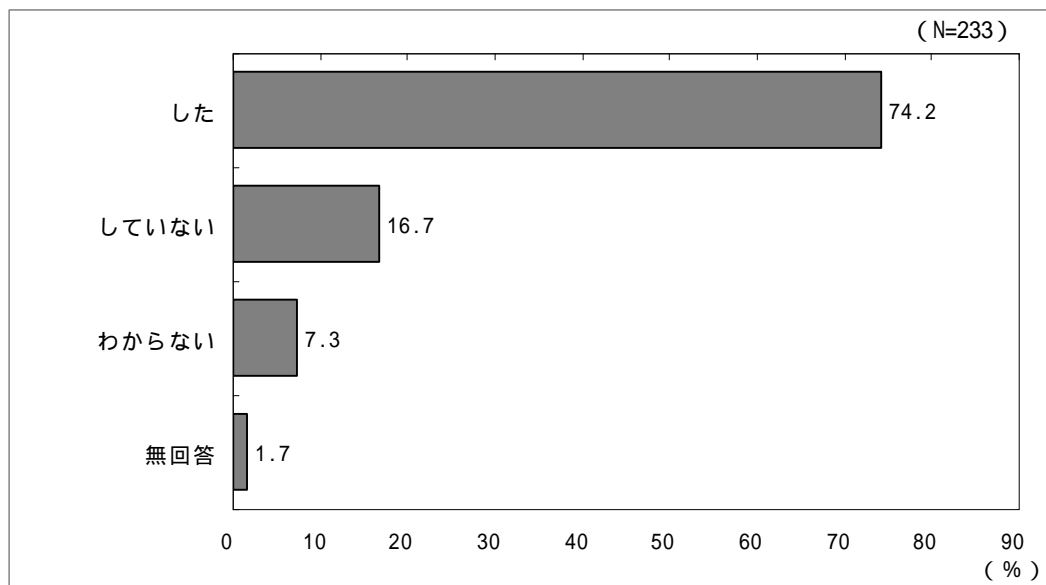
(3) 町会区域内での集合住宅の建設や住宅地の開発について(平成20年度以降)

- ・ 「なかった」が61.3%で最も多く、ついで「あった」が28.9%となっている。



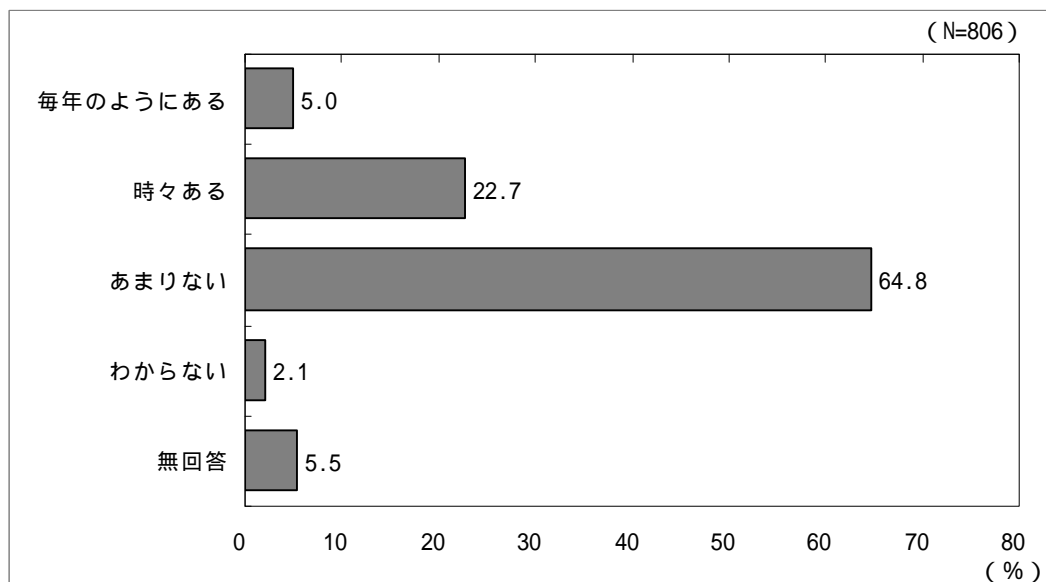
(4) (建設や開発があった町会について) 完成前や入居直後の加入の働きかけ

- ・ 「した」が74.2%で最も多く、ついで「していない」が16.7%となっている。



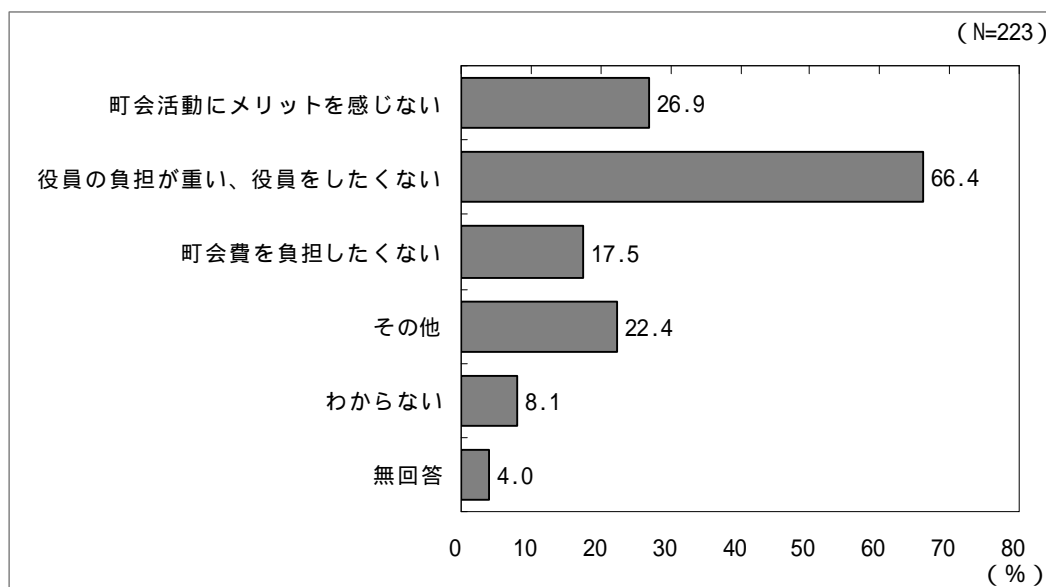
(5) 町会を退会するケース(町会外への転居を除く)について

- ・ 「あまりない」が64.8%で最も多く、ついで「時々ある」が22.7%、「毎年のようにある」が5.0%となっている。



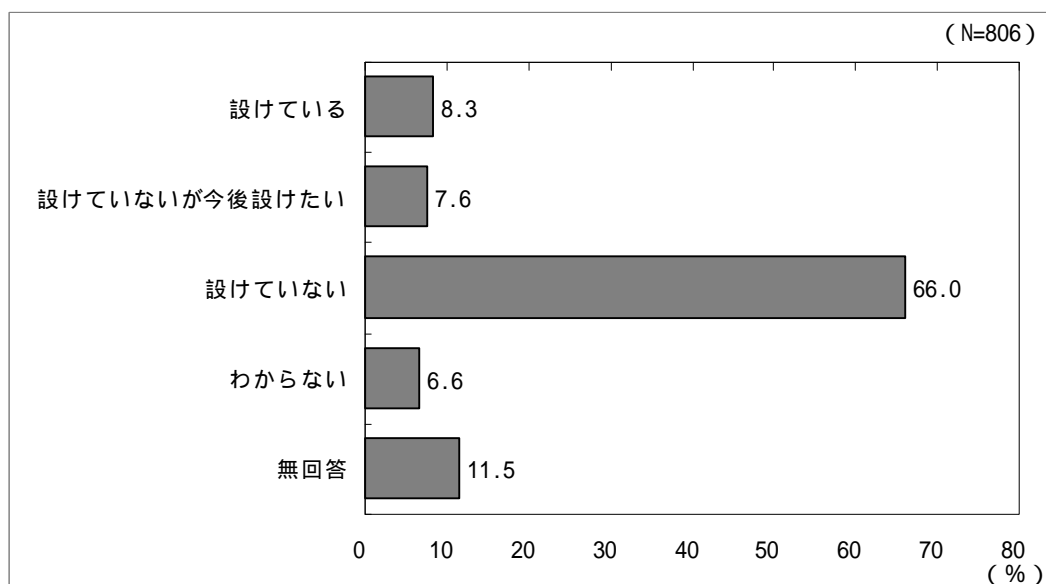
(6) (退会が「毎年のようにある」、「時々ある」町会について) 退会理由(複数回答)

- ・ 「役員の負担が重い、役員をしたくない」66.4%で最も多く、ついで「町会活動にメリットを感じない」が26.9%となっている。



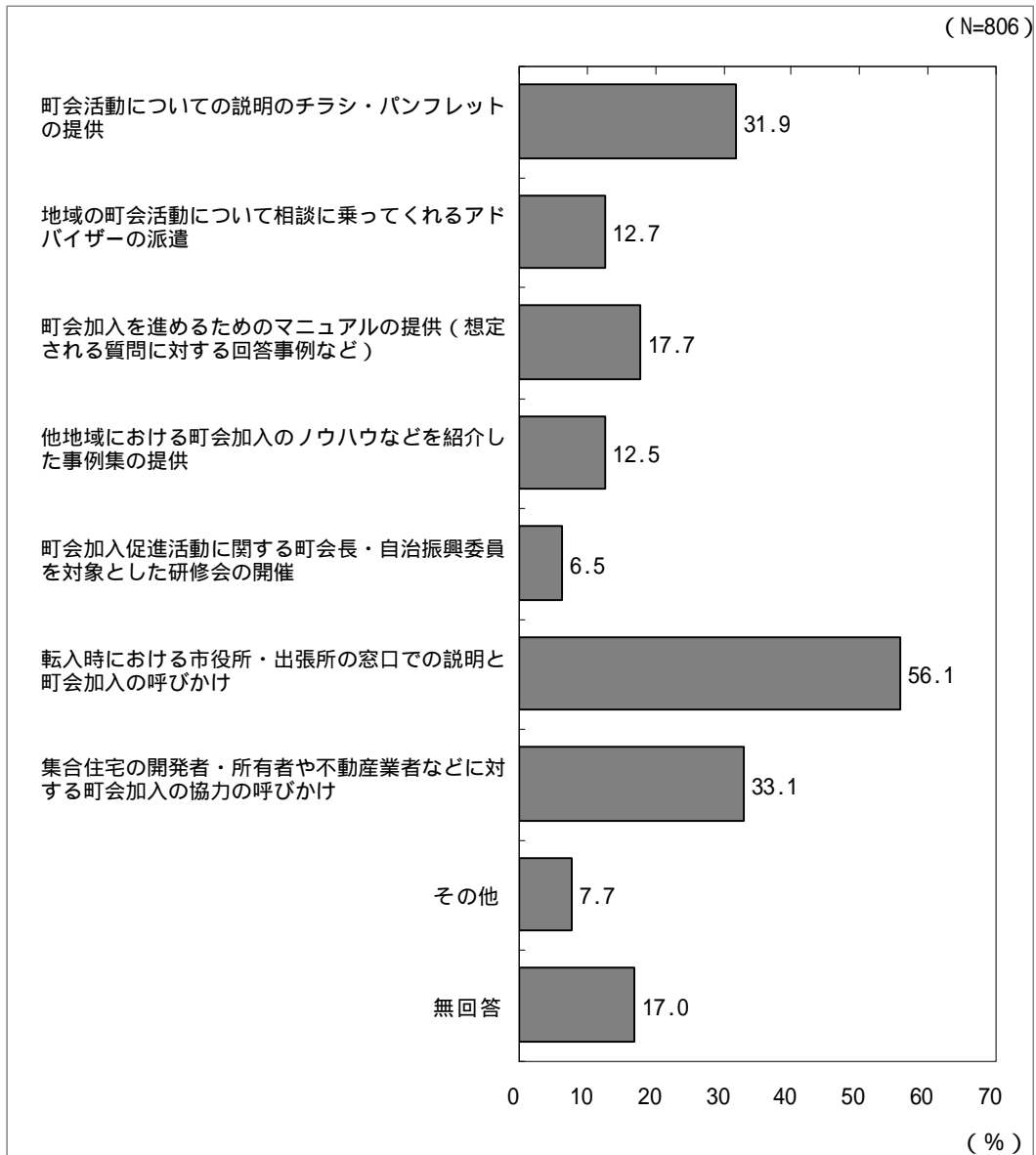
(7) 町会からの退会を防ぐための負担軽減策について

- ・ 「設けていない」が66.0%で最も多く、ついで「設けている」が8.3%、「設けていないが今後設けたい」が7.6%となっている。



(8) 加入促進活動を活発にするために行政へ求める支援 (複数回答)

- ・ 「転入時における市役所・出張所の窓口での説明と町会加入の呼びかけ」が56.1%で最も多く、ついで「集合住宅の開発者・所有者や不動産業者などに対する町会加入の協力の呼びかけ」が33.1%、「町会活動についての説明のチラシ・パンフレットの提供」が31.9%となっている。

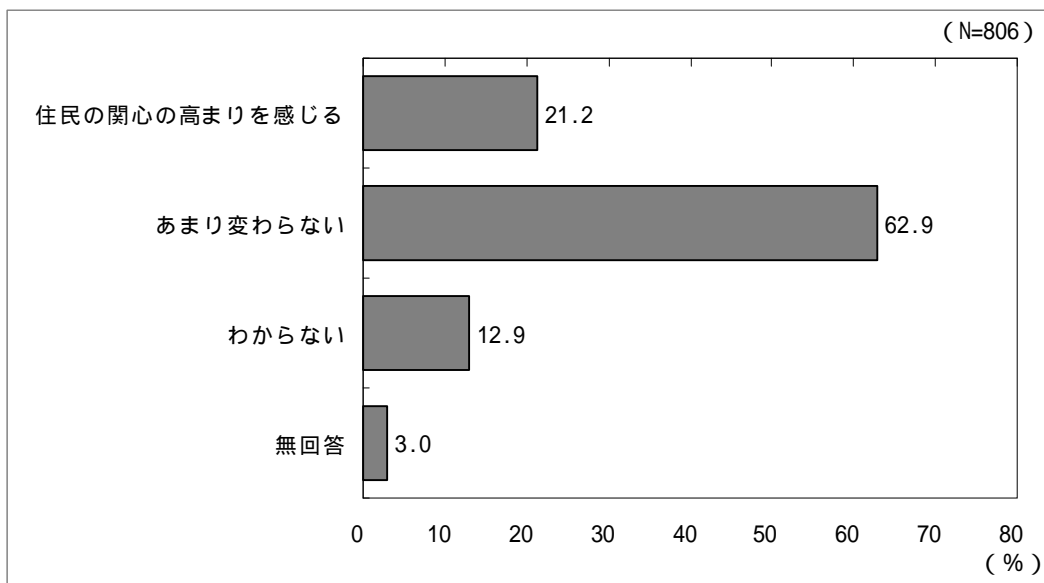


4. これからの町会活動の活発化に向けて

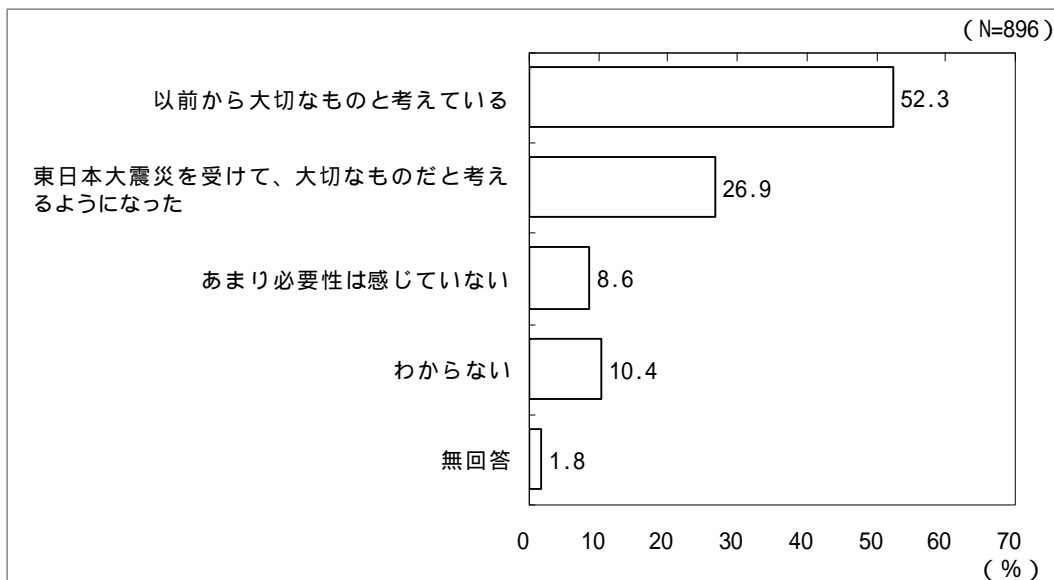
(1) 東日本大震災をきっかけとした住民の町会活動への関心の変化について

- ・ 「あまり変わらない」が62.9%で最も多く、ついで「住民の関心の高まりを感じる」が21.2%となっている。
- ・ 市民アンケートでは、近隣の方とのつきあいについて、東日本大震災を受けて大切だと思うようになった人が26.9%となっている。

【町会長・自治振興委員】



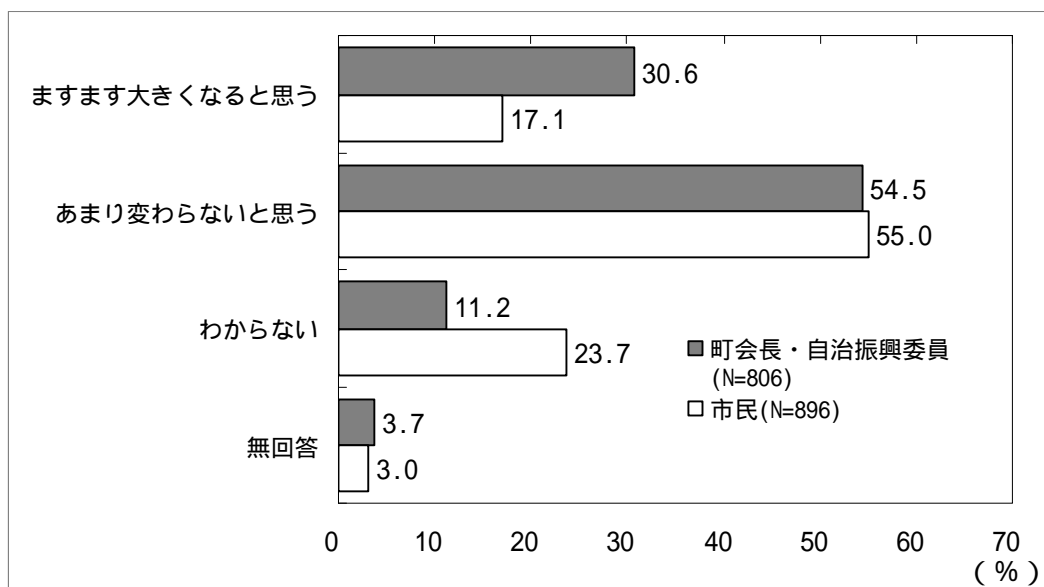
(参考) 【市民】



(注) 市民アンケートでは、「東日本大震災の発生を受けて、近隣の方とのつきあいについて、どのように考えていますか」と尋ねている。

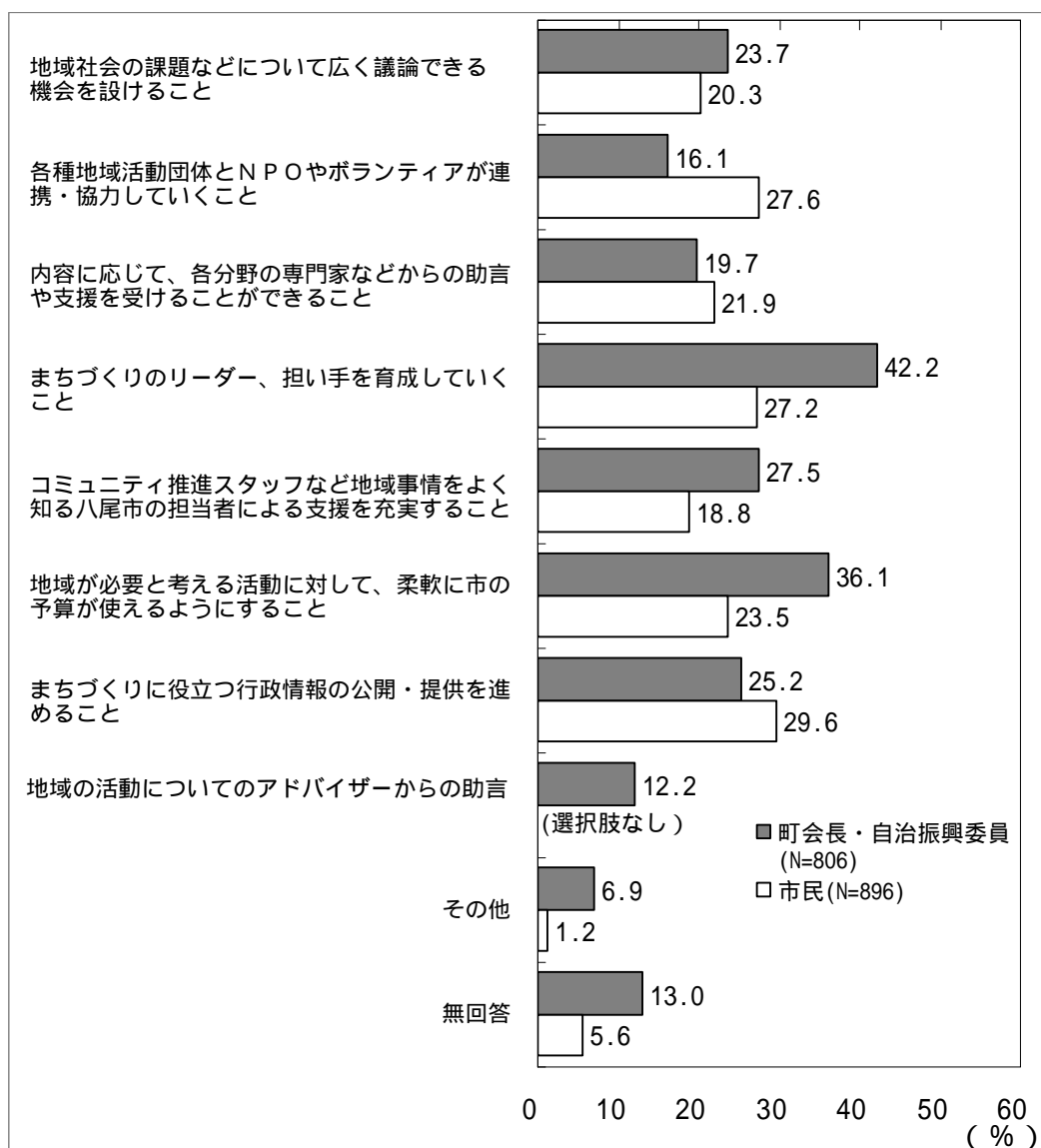
(2) 今後の町会が担う役割について

- ・ 「あまり変わらないと思う」が54.5%と最も多く、ついで「ますます大きくなると思う」が30.6%となっている。
- ・ 市民アンケート結果と比較すると、「あまり変わらないと思う」が最も多いという点は同じだが、「ますます大きくなると思う」は町会長・自治振興委員で多く、市民では「わからない」が多い。



(3) 町会活動を活発にするために必要なことについて(複数回答)

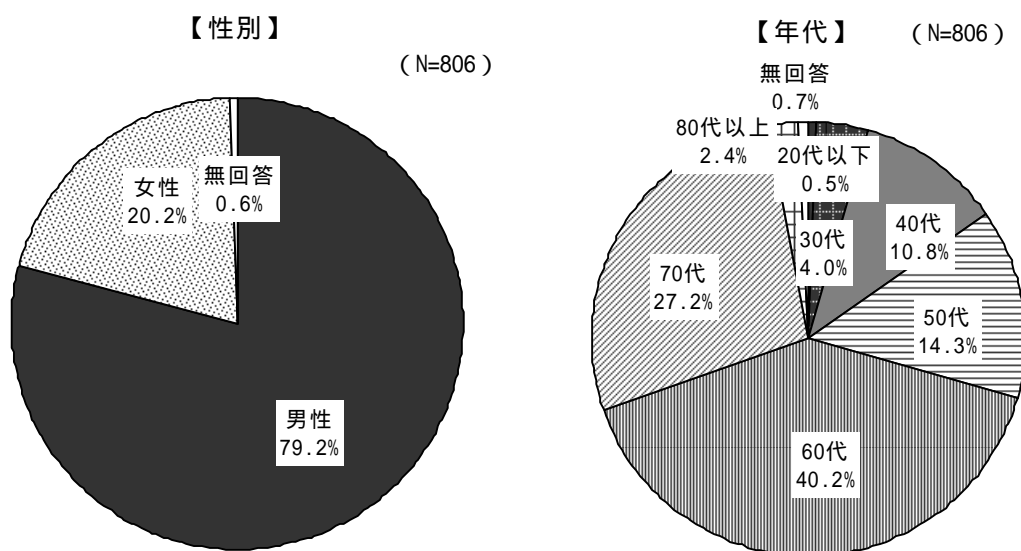
- ・ 「まちづくりのリーダー、担い手を育成していくこと」が42.2%で最も多く、ついで「地域が必要と考える活動に対して、柔軟に市の予算が使えるようにすること」が36.1%、「コミュニティ推進スタッフなど地域事情をよく知る八尾市の担当者による支援を充実すること」が27.5%、「まちづくりに役立つ行政情報の公開・提供を進めること」が25.2%、「地域社会の課題などについて広く議論できる機会を設けること」が23.7%となっている。
- ・ 市民アンケート結果と比較すると、市民アンケートでは「各種地域活動団体とNPOやボランティアが連携・協力していくこと」が町会長・自治振興委員アンケートよりも11.5%高くなっているが、「まちづくりのリーダー、担い手を育成していくこと」は15.0%、「地域が必要と考える活動に対して、柔軟に市の予算が使えるようにすること」が12.6%低くなっている。



5. 回答者の属性

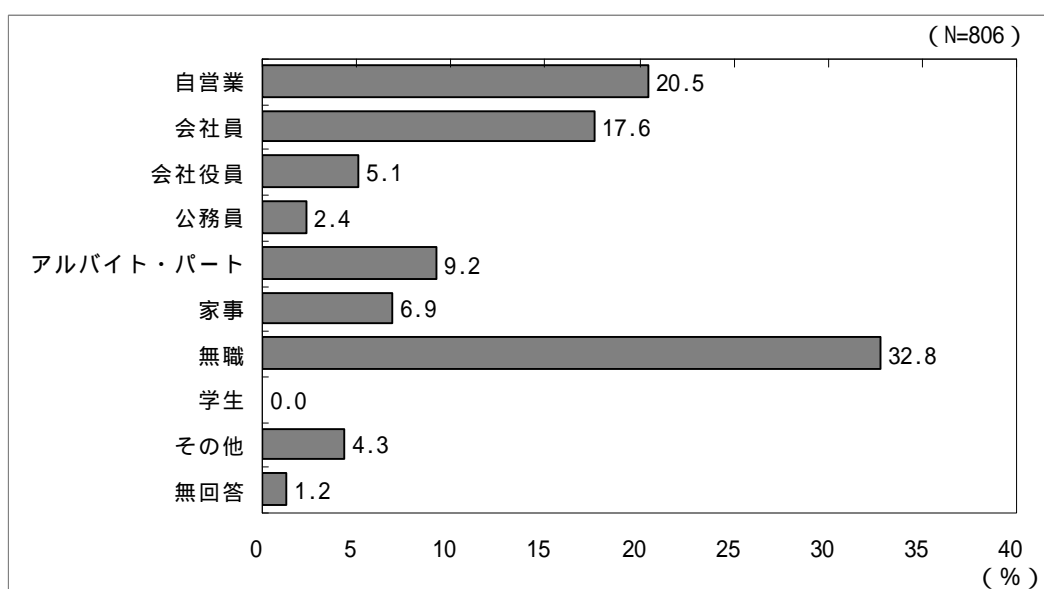
(1) 性別・年代

- ・性別は、「男性」が79.2%、「女性」が20.2%で、男性のほうが多い。
- ・年代は、「60代」が40.2%で最も多く、ついで「70代」が27.2%、「50代」が14.3%、「40代」が10.8%となっている。



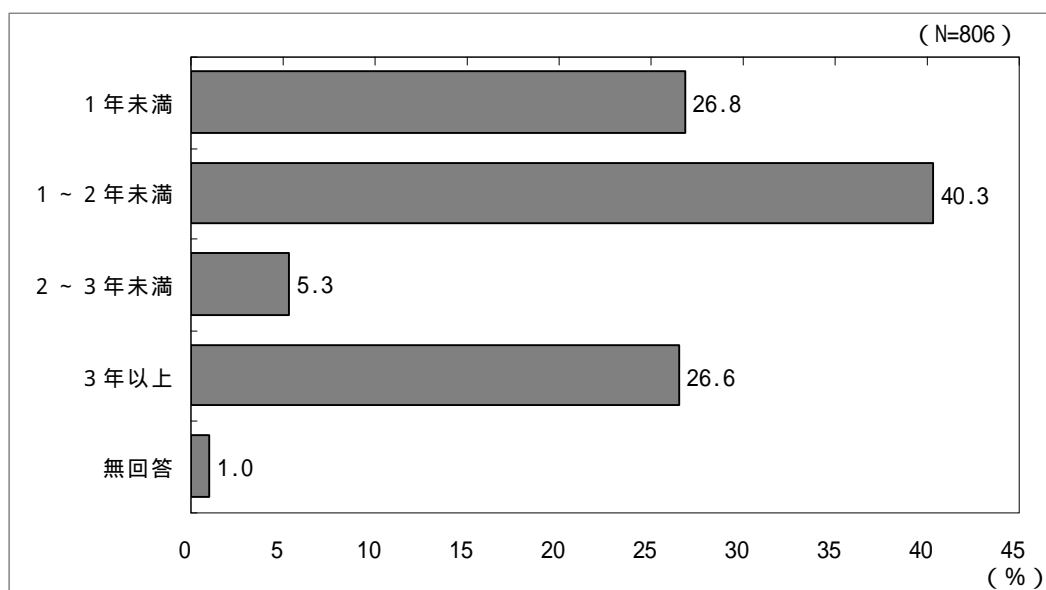
(2) 職業

- ・「無職」が32.8%で最も多く、ついで「自営業」が20.5%、「会社員」が17.6%となっている。

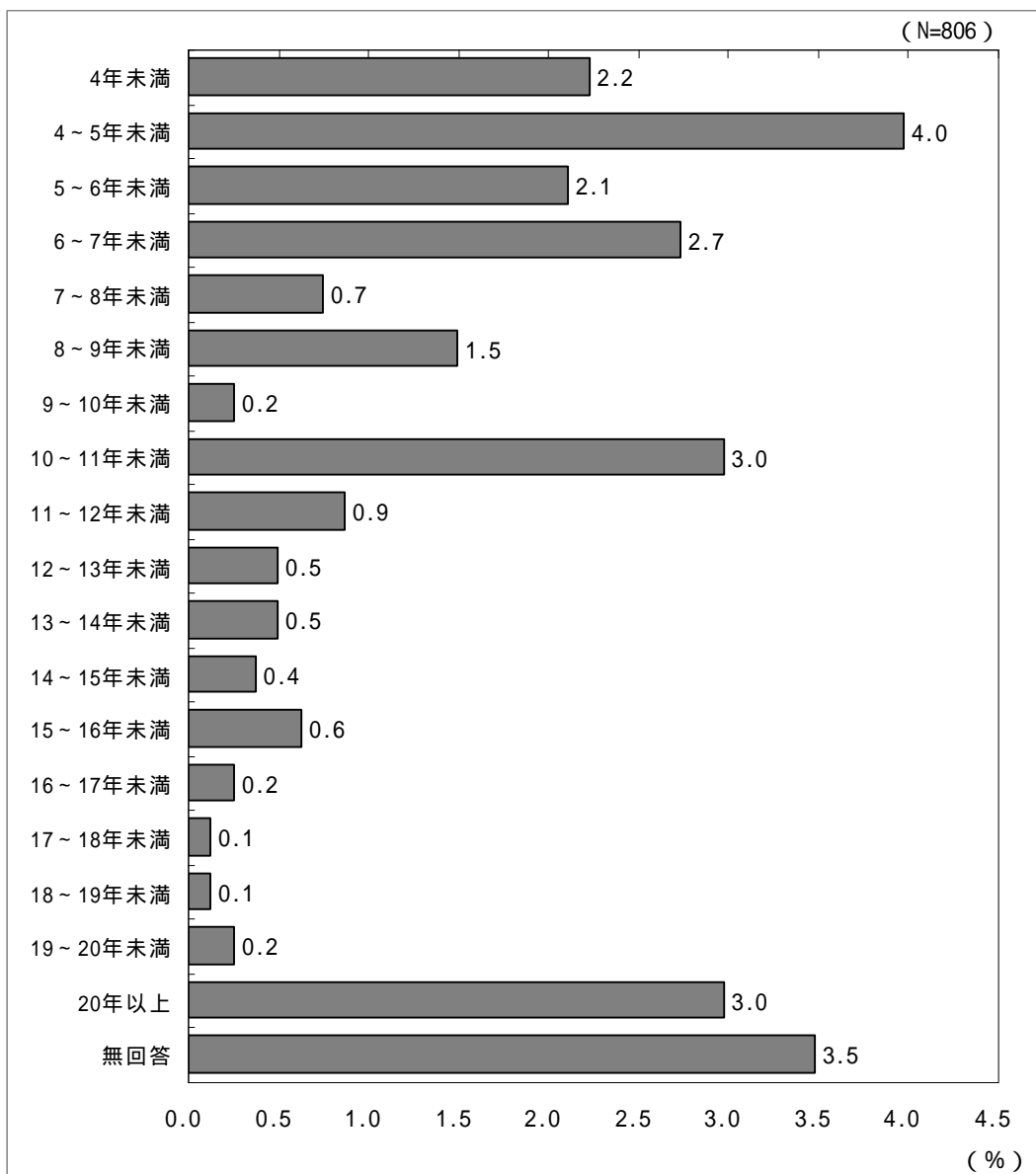


(3) 町会長・自治振興委員に就任してからの年数

- ・ 「1～2年未満」が40.3%で最も多く、ついで「1年未満」が26.8%、「3年以上」が26.6%、「2～3年未満」が5.3%となっている。
- ・ 「3年以上」の内訳では、「4～5年未満」が4.0%で最も多く、ついで「10～11年未満」と「20年以上」がいずれも3.0%、「6～7年未満」が2.7%となっている。

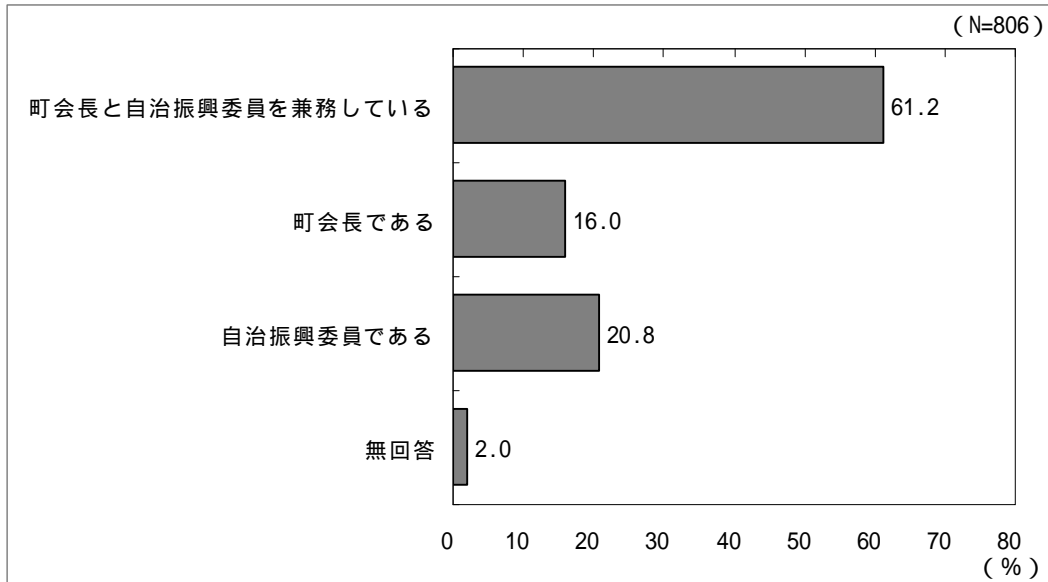


【「3年以上」の内訳】



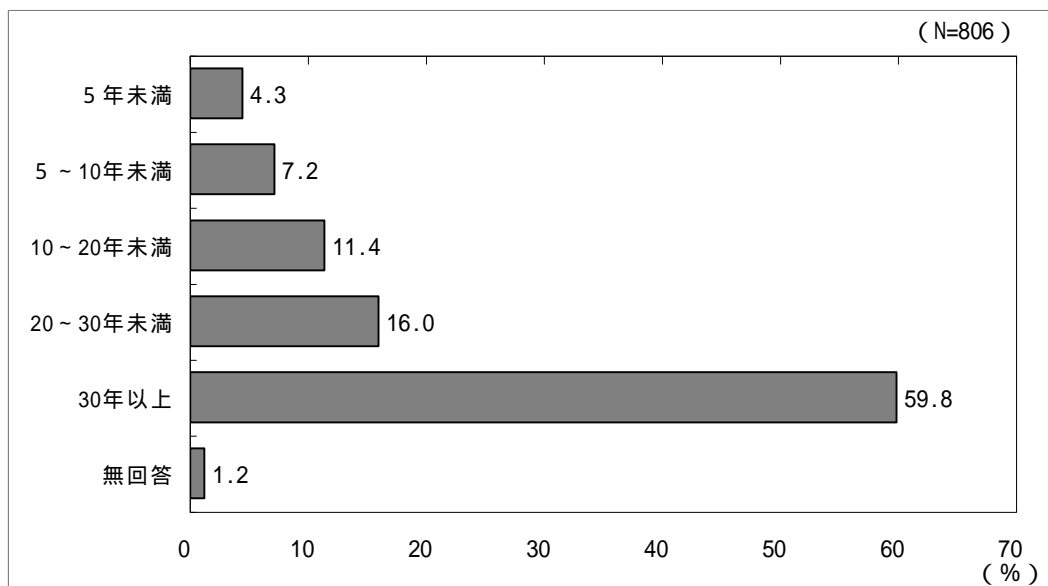
(4) 町会長と自治振興委員の就任状況について

・「町会長と自治振興委員を兼務している」が61.2%で最も多く、ついで「自治振興委員である」が20.8%、「町会長である」が16.0%となっている。



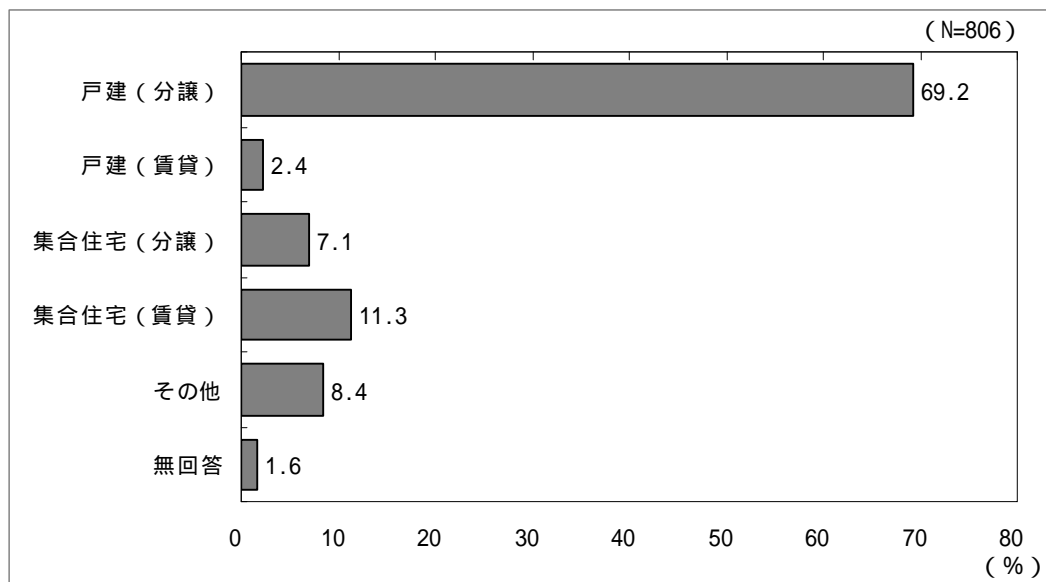
(5) 現在の地域（小学校区）での居住年数について

・「30年以上」が59.8%で最も多く、ついで「20～30年未満」が16.0%、「10～20年未満」が11.4%、「5～10年未満」が7.2%、「5年未満」が4.3%となっている。



(6) 現在の住居の種類について

・「戸建(分譲)」が69.2%で最も多く、ついで「集合住宅(賃貸)」が11.3%、「集合住宅(分譲)」が7.1%、「戸建(賃貸)」が2.4%となっている。



(7) お住まいの小学校区について

・「永畑小学校区」が7.9%で最も多く、ついで「志紀小学校区」が6.9%、「南高安小学校区」が5.3%、「大正北小学校区」が5.0%となっている。

